

第5 1回若鷲旗争奪東北中学校野球大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

東北中学校体育連盟軟式野球専門部

1. 大会全般について

- (1) 本大会は、東北中学校体育連盟大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン並びに本ガイドラインを適用して行う。
- (2) 大会の開催可否は、主催者（東北中学校体育連盟、東北軟式野球連盟、河北文化事業団、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、利府町教育委員会、宮城県中学校体育連盟）の判断による。
- (3) 本大会が実施されなかった場合、上位大会（第44回全国中学校軟式野球大会）へ出場するチームの決定方法は別に定める。
- (4) 選手、部員、引率者及び監督、コーチ、運営スタッフ、審判員、報道関係者、観戦者等は「健康チェックシート（様式1-1）」を参加当日、大会本部に提出する。
- (5) 観戦者は、出場チームの部員、部員の家族、教職員のみとする。なお、今後の感染状況によっては、東北中学校体育連盟及び同軟式野球専門部会申し合わせ事項により、制限を加えることや無観客とすることがある。また、各会場の施設管理者によって入場規制等の措置が取られる場合は、観戦者の制限が会場によって異なることがある。
- (6) 参加チームは、健康チェックシート（様式1-1）に加えて、「学校同行者一覧表（様式1-2）」も参加当日、打順表提出時に大会本部へ提出する。
- (7) 参加者は移動時や観戦時など、競技以外の時にはマスクを着用する。

2. 競技について

- (1) 2試合目以降のチームのベンチ入りは、ベンチ入口から離れた場所で待機し、前の試合のチーム全員が完全に退場してから入場する。
- (2) 監督、コーチ、選手等は、ベンチ入り後から試合終了後までベンチ内に設置されている消毒液をこまめに使用し、予防に努める。
- (3) チームで使用する用具の消毒液は、各チームで準備する。また、以下のことに留意する。
 - ① チームで共有するもの（ヘルメットやバット等）は、こまめに消毒する。
 - ② キャッチャーマスクは共有しない。
- (4) 感染症予防のため、以下の行為を禁止する。
 - ① 水分補給のためのコップの共有やペットボトル等の回し飲み
 - ② 試合前における密集状態（円陣等）での声出しやチームパフォーマンス等
 - ③ 試合開始及び終了時におけるホームベース付近での整列及びあいさつ
 - ④ 素手でのハイタッチや握手
 - ⑤ グラウンド内に痰や唾を吐く
- (5) 引率者、監督、コーチ等は、原則マスクを着用する。
- (6) 選手は常にマスクを携帯し、練習や競技中以外は原則マスクを着用する。
- (7) 控え選手は、原則、ベンチ内ではマスクを着用する。ただし、熱中症の危険があるため注意すること。また、控え選手がコーチボックスに立つ際は、マスクの着用は義務づけない。
- (8) 試合中、選手がマウンド周辺に集合し会話をする際は、グラブを口に当てる。
- (9) 競技中のマスク着用は各選手の判断とするが、着用する場合は熱中症に注意する。

3. 観戦について

- (1) 観戦者は、間隔を1 m以上（座席が設置されている場所は1席以上）空けて、指定された場所でマスクを着用して観戦する。
- (2) 観戦する際は大声を出さず、拍手のみでの応援を基本とし、メガホンや拍手でリズムをとるような一斉応援は行わない。
- (3) 出場チーム部員の家族等の観戦は、自チームの試合のみとする。自チームの試合終了後は、速やかに退場する。
- (4) 観戦者は、学校（チーム）名を表記した名札を各自（各校）で用意し、体の前面へ身につける。

4. 運営に関して

- (1) 運営スタッフ及び審判員も検温を徹底し、発熱・咳・咽頭痛・倦怠感等の症状がある場合は参加しない。また、健康チェックシートの記入・提出を義務付ける。
- (2) 運営スタッフは常にマスクを着用する。
- (3) 球審は原則マスクを着用する。イニング間はこまめに水分補給をするなど、熱中症予防に努める。また、塁審はマスクを着用しなくともよい。
- (4) 観戦者の入退場者が交わらないようにする。
- (5) 観戦者の入場口を一つにし、「学校同行者一覧表（様式1-2）」に記載のある者のみ入場させるよう運営スタッフを配置する。
- (6) 各ベンチ内及び入退場口、洗面所等には消毒液を設置し、定期的に補充する。
- (7) 大会本部や放送室、記録室が密集状態とならないように努める。
- (8) チームごとの待機場所を指定し、参加チーム同士が密にならないようにする。
- (9) 運営スタッフは定期的に観戦スペースを巡回し、観戦者の掌握や応援の仕方などを確認する。

5. その他

- (1) 会場内における昼食等の飲食時は、人同士が対面することを避け、会話を控える。また、互いに十分な間隔（1 m以上）を取る。
- (2) 感染症対策と同様に、熱中症対策や食中毒対策も各チームで徹底して行う。
- (3) 大会参加前、大会期間中、大会終了後1週間以内に感染者等が確認された場合は、各学校長が実行委員会会長（宮城県中学校体育連盟軟式野球専門部会長）へ速やかに連絡する。
- (4) 万が一、感染者等が確認され、大会への参加が不可能となっても、チームや選手個人を誹謗・中傷したり、非難したりするような行為は行わない。
- (5) 本ガイドラインは、新たな知見の集積及び当該地域における感染状況等を踏まえ、随時修正する場合がある。

上記の内容は、以下の関係団体ガイドライン（資料）等を参考に作成しました。

- ・一般財団法人全日本野球協会
- ・公益財団法人全日本軟式野球連盟
- ・宮城県高等学校野球連盟
- ・宮城県中学校体育連盟